



垂井から全国の舞台へ

第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ
春季水泳競技大会(東京都)



奥地暖空さん(北中3年)

3/29 岐阜協立大学と連携協定を締結



地域経済の活性化をはじめ、協働のまちづくりの推進、教育、文化、スポーツに関することなど、8分野について包括的に協力し連携する協定を締結しました。竹内学長は「町と密接に協力し、成果をあげていきたい」と話され、早野町長は「この連携協定を機に、互いに発展していきたい」と述べました。

3/26 たるいSDGsマルシェを開催しました



たるいSDGsマルシェを開催しました。朝倉運動公園で開催予定でしたが、雨のため、朝倉運動公園体育館での開催となりました。マルシェは町内事業者など18店舗が出店。テイクアウトの飲食や、物販、体験ができるワークショップなどが店を構え、多くの来場者を楽しませてくれました。会場では、木の指輪づくりやデザートスプーンづくりなど、木に親しむワークショップも同時開催しました。

3/19 消防団の車両を更新しました



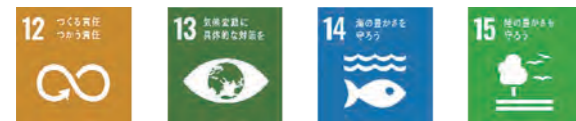
消防団宮代分団のポンプ自動車の更新を行い、伝達式を行いました。これまでのポンプ自動車は、準中型以上の運転免許証が必要でしたが、今回更新したポンプ自動車は普通免許で運転が可能で、町内消防団では初めて導入した車両です。万が一火災が発生したときは、現場に駆けつけ町民の安全を守ります。

小さな行動が 未来につながる
～今すぐできる 私のSDGs～

SDGsを知る

SDGsの「5つのP」

3つ目のPは「Planet (地球)」



※17のゴールのうち、12から15までが該当します。

地球の豊かな自然。

未来を生きる子どもたちのために、美しい地球を守るのは、今を生きる私たちの責任です。

SDGsでは、地球の豊かな自然を守り、大量生産、大量消費の社会を見直し、未来にわたって自然から資源や食糧などの恵みを受け続ける世界を目指しています。

- ・食品ロスをなくそう。買い物する際は冷蔵庫の中をチェック!
- ・ゴミのポイ捨て禁止。捨てたゴミが川から海へ流れ汚染に!
- ・資源ゴミは分別してリサイクル!

一人一人の小さな行動が未来の地球を守ります。

「誰一人取り残さない」世界を、みんなで目指しましょう。

問 企画調整課 地域振興係 ☎22-1152

Quiz 広報クイズ

広報たるいを読んで、クイズに挑戦しよう!

応募し、全問正解した人の中から抽選で3人に賞品を贈ります。

なお、当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

問題

- ①海洋ごみを出さないためにマイ○○○やマイ○○○を持参しましょう
- ②マイナポイントの申込期限が○月末まで延長
- ③風水害への備えで大切なのは○○対策と○○対策

正解は来月号のこのコーナーでお知らせします。

▶応募資格/どなたでも

▶応募方法/次のいずれかから応募

応募手段	応募方法
1 応募フォーム	紙面に添付のQRコードまたは町ホームページからアクセスし、必要事項を記入し送信
2 ハガキ	ハガキの裏面に「広報たるい5月号広報クイズの応募」、クイズの解答を記載し、以下へ郵送

▶応募期限/5月19日(金)必着

申・問 〒503-2193 垂井町宮代2957番地の11
垂井町役場 企画調整課 地域振興係
☎22-1152



3/28 巡回バス「すこやか号」を更新しました



巡回バス「すこやか号」の車両を更新し、出発式を行いました。この車両は、企業版ふるさと納税としてご寄附いただいた寄附金を活用して購入しました。出発式では、地域のみなさんやバスの利用者が集い、出発するバスに手を振って見送りました。新車両は4月から栗原・表佐・東線で運行しています。新しくなった巡回バス「すこやか号」を、ぜひご利用ください。

3/27 さらに垂井町の魅力を発信



総合エンターテインメント企業の(株)ポニーキャニオン(本社：東京都)と包括連携協定を締結しました。官民が連携し、町の魅力発信や首都圏での情報発信、地域活性化を図ることを目的としています。

同社の吉村隆代表取締役社長は「垂井町は、日本の歴史の成り立ちに深く関わってきた町。弊社の持つエンターテインメント力で更なる発展に寄与していきたい」と話され、早野町長は「エンターテインメント業界屈指の事業者であるポニーキャニオンと包括協定を締結できたことはたいへん喜ばしい。マーケティング力やプロモーション力で本町の魅力をより効果的に届けるお手伝いをお願いしたい」と話しました。